

# 1 編成方針

平成18年度予算の編成にあたっては、次の4点を基本方針として掲げました。

第一に、将来のまちづくりや新たな行政サービスに対応できるよう、継続的に収支のバランスのとれた財政構造へ転換を図る。

第二に、歳入歳出全般にわたる思い切った見直しを聖域なく実施する。

第三に、費用対効果の観点から省力化・効率化を徹底することはもとより、行政サービスの質を高める。

第四に、本町が掲げる「人にやさしいまちづくり」の推進に果敢に取り組む。

この基本方針の下、第3次斑鳩町総合計画の実現に向け、限りある財源を重点的、効率的に配分して、次の視点から予算を編成しました。

1. いきいきと学びあえる教育環境の充実
2. 誰もが健康で、温もりとやさしさを実感できる福祉の充実
3. 快適でうるおいを実感できる都市基盤の整備
4. 環境にやさしく、やすらぎを実感できる生活環境の向上
5. 豊かな歴史的・文化的資源を生かした斑鳩らしさの創造
6. 多様化する住民ニーズに的確に対応するため、行財政運営の効率化と健全化

# 2 まちづくりの基本施策

まちづくりの基本施策は、第3次斑鳩町総合計画にかかげる6つの柱とする。

1. とともに生き心ふれあうまちづくり ～地域づくり・人づくり～
2. すこやかにともに生きる福祉のまちづくり ～保健・福祉・医療の充実～
3. 文化の香り高く心豊かなまちづくり ～教育・文化の振興～
4. 潤いのある魅力的なまちづくり ～都市基盤の整備～
5. 安全で快適なまちづくり ～生活環境の整備～
6. にぎわいのあるまちづくり ～産業・観光の振興～

### 3 財政規模

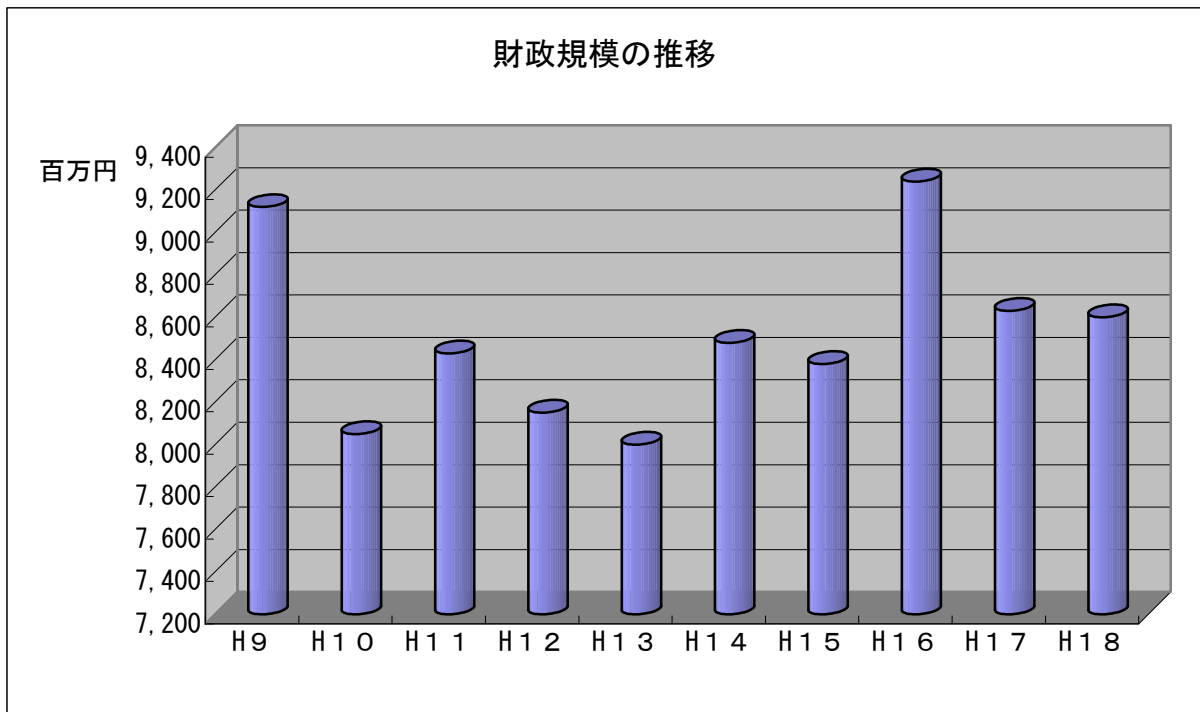
平成18年度一般会計の予算規模は、前年度と比べ0.3%減の86億円となっています。そのうち、一般歳出は、71億4,172万1千円で前年度と比べ1.0%の減となり、経常経費で1億1,462万2千円、2.1%の減額、投資的経費では4,572万6千円、2.6%の増額となっています。

また、特別会計の予算規模は、全体で前年度と比べ8.3%増の81億772万5千円となっています。

(単位：千円，%)

区 分	平成18年度 A	平成17年度 B	増減額		増減率 (C/B)*100	平成17年度現計予算額との比較		
			(A-B)	C		現計予算額	増減額	増減率
<b>一般会計</b>	<b>8,600,000</b>	<b>8,630,000</b>	<b>△ 30,000</b>	<b>△ 0.3</b>	<b>8,833,024</b>	<b>△ 233,024</b>	<b>△ 2.6</b>	
うち一般歳出	7,141,721	7,210,617	△ 68,896	△ 1.0	7,294,550	△ 152,829	△ 2.1	
経常経費	5,358,005	5,472,627	△ 114,622	△ 2.1	5,505,498	△ 147,493	△ 2.7	
投資的経費	1,783,716	1,737,990	45,726	2.6	1,789,052	△ 5,336	△ 0.3	
<b>特別会計</b>	<b>8,107,725</b>	<b>7,486,465</b>	<b>621,260</b>	<b>8.3</b>	<b>8,111,331</b>	<b>△ 3,606</b>	<b>△ 0.0</b>	
国民健康保険事業	2,750,900	2,563,000	187,900	7.3	2,805,521	△ 54,621	△ 1.9	
老人保健	2,170,650	1,967,140	203,510	10.3	2,244,162	△ 73,512	△ 3.3	
大字龍田財産区	5,475	4,325	1,150	26.6	25,940	△ 20,465	△ 78.9	
公共下水道事業	1,812,100	1,728,000	84,100	4.9	1,755,720	56,380	3.2	
介護保険事業	1,368,600	1,224,000	144,600	11.8	1,279,988	88,612	6.9	
<b>一般・特別会計合計</b>	<b>16,707,725</b>	<b>16,116,465</b>	<b>591,260</b>	<b>3.7</b>	<b>16,944,355</b>	<b>△ 236,630</b>	<b>△ 1.4</b>	
<b>企業会計</b>	<b>1,276,693</b>	<b>1,272,370</b>	<b>4,323</b>	<b>0.3</b>	<b>1,287,142</b>	<b>△ 10,449</b>	<b>△ 0.8</b>	
水道事業会計	1,276,693	1,272,370	4,323	0.3	1,287,142	△ 10,449	△ 0.8	
収益的支出	809,239	814,522	△ 5,283	△ 0.6	807,694	1,545	0.2	
資本的支出	467,454	457,848	9,606	2.1	479,448	△ 11,994	△ 2.5	
<b>総 合 計</b>	<b>17,984,418</b>	<b>17,388,835</b>	<b>595,583</b>	<b>3.4</b>	<b>18,231,497</b>	<b>△ 247,079</b>	<b>△ 1.4</b>	

(注) 一般歳出とは、一般会計のうち、公債費、財政調整基金等への積立金、予備費を除いた額です。  
平成17年度現計予算額は、12月補正後の予算額となっています。



### 財政規模等の推移（一般会計当初予算）

（単位：百万円，％）

区 分	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
財政規模	9,120	8,050	8,430	8,150	8,000	8,480	8,380	9,240	8,630	8,600
伸び率	△ 17.5	△ 11.7	4.7	△ 3.3	△ 1.8	6.0	△ 1.2	10.3	△ 6.6	△ 0.3
一般歳出	7,894	6,746	6,885	6,499	6,376	6,869	6,851	7,175	7,211	7,142
伸び率	△ 21.3	△ 14.5	2.1	△ 5.6	△ 1.9	7.7	△ 0.3	4.7	0.5	△ 1.0

### 国及び地方財政計画の財政規模等の推移

（単位：億円，％）

区 分	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	
国の 一般会計	財政規模	773,900	776,692	818,601	849,871	826,524	812,300	817,891	821,109	821,829	796,860
	伸び率	3.0	0.4	5.4	3.8	△ 2.7	△ 1.7	0.7	0.4	0.1	△ 3.0
	一般歳出	438,067	445,362	468,878	480,914	486,589	475,472	475,922	476,320	472,829	463,660
	伸び率	1.5	△ 1.3	5.3	2.6	1.2	△ 2.3	0.1	0.1	△ 0.7	△ 1.9
地方 財政計画	財政規模	870,596	870,964	885,316	889,300	893,071	875,666	862,107	846,669	837,687	831,800
	伸び率	2.1	0.0	1.6	0.5	0.4	△ 1.9	△ 1.5	△ 1.8	△ 1.1	△ 0.7
	一般歳出	745,192	733,625	746,888	739,854	735,548	711,319	697,201	681,049	673,216	665,000
	伸び率	0.9	△ 1.6	1.8	0.9	△ 0.6	△ 3.3	△ 2.0	△ 2.3	△ 1.2	△ 1.2

## 4 歳入の概要（一般会計）

町税は、28億6,750万円で、前年度と比べ、1億1,990万円、4.4%の増額となっています。

地方譲与税は、「三位一体の改革」の税源移譲により、前年度と比べ、9,610万円、54.0%の増額となったものの、地方交付税は、国の地方交付税改革による総交付額の減額、事業費補正分等の減少により、前年度と比べ、1億2,700万円、5.6%の減額となっています。

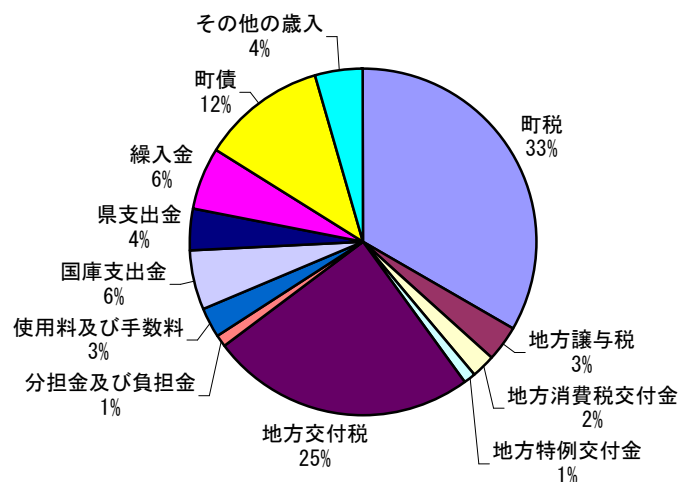
また、繰入金は、大幅な財源不足に対応するため、新たに財政調整基金で1億4,000万円、藤ノ木古墳整備基金で2,000万円を取り崩すことから、前年度と比べ、1億4,100万円、38.7%の増額となっています。

なお、町債については、JR法隆寺駅周辺整備事業等の資金確保を図りながらも、将来の公債費負担の軽減を図るため、その発行の抑制に努めた結果、前年度と比べ、1億7,950万円、15.1%の減額となっています。

(単位：千円，%)

区 分	平成18年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成17年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
町税	2,867,500	2,747,600	119,900	4.4	2,827,600	39,900	1.4
地方譲与税	274,100	178,000	96,100	54.0	178,000	96,100	54.0
地方消費税交付金	196,300	190,000	6,300	3.3	190,000	6,300	3.3
地方特例交付金	93,200	113,800	△ 20,600	△ 18.1	111,136	△ 17,936	△ 16.1
地方交付税	2,131,000	2,258,000	△ 127,000	△ 5.6	2,300,620	△ 169,620	△ 7.4
分担金及び負担金	105,398	107,154	△ 1,756	△ 1.6	107,154	△ 1,756	△ 1.6
使用料及び手数料	238,852	233,170	5,682	2.4	233,170	5,682	2.4
国庫支出金	477,879	557,812	△ 79,933	△ 14.3	572,907	△ 95,028	△ 16.6
県支出金	326,093	303,871	22,222	7.3	323,423	2,670	0.8
繰入金	505,106	364,106	141,000	38.7	364,106	141,000	38.7
町債	1,008,900	1,188,400	△ 179,500	△ 15.1	1,121,000	△ 112,100	△ 10.0
その他の歳入	375,672	388,087	△ 12,415	△ 3.2	503,908	△ 128,236	△ 25.4
合 計	8,600,000	8,630,000	△ 30,000	△ 0.3	8,833,024	△ 233,024	△ 2.6

歳入の構成割合



## 5 歳出の概要（一般会計）

### （1）目的別内訳

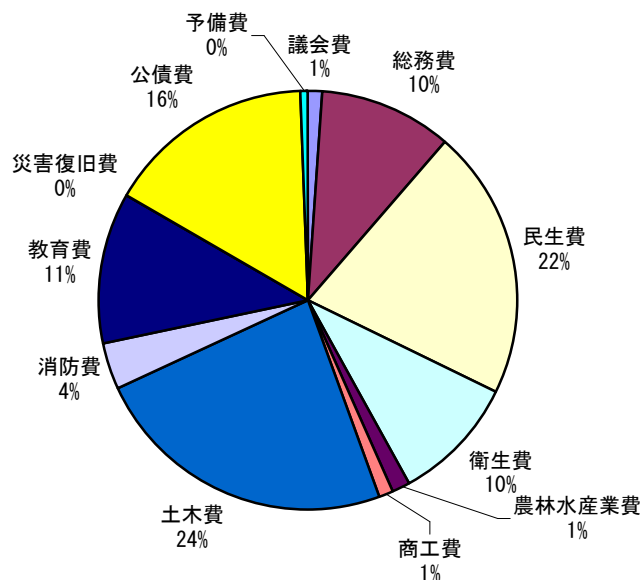
衛生費と教育費が前年度に比べ減額となっています。これは、衛生費で、ごみ処理業務等委託料の縮減が図れたことなどによる減、また、教育費では、中宮寺跡史跡用地購入事業にかかる事業費の減によるものです。

一方、増額となったものは土木費と民生費で、土木費は、前年度に比べ、1億4,228万2千円、7.6%の増額となっています。これは、JR法隆寺駅周辺整備事業、道路新設改良事業にかかる事業費の増によるものです。また、民生費は、（仮称）総合福祉会館建設実施設計委託料、介護保険事業特別会計などへの繰出金の増により、前年度に比べ、8,605万2千円、5.0%の増額となっています。

（単位：千円、%）

区 分	平成18年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成17年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
議 会 費	105,135	115,753	△ 10,618	△ 9.2	113,566	△ 8,431	△ 7.4
総 務 費	882,724	878,209	4,515	0.5	963,680	△ 80,956	△ 8.4
民 生 費	1,793,147	1,707,095	86,052	5.0	1,761,707	31,440	1.8
衛 生 費	821,616	923,323	△ 101,707	△ 11.0	919,009	△ 97,393	△ 10.6
農 林 水 産 業 費	126,358	136,442	△ 10,084	△ 7.4	134,576	△ 8,218	△ 6.1
商 工 費	105,137	105,769	△ 632	△ 0.6	104,212	925	0.9
土 木 費	2,008,471	1,866,189	142,282	7.6	1,850,894	157,577	8.5
消 防 費	331,078	327,590	3,488	1.1	331,376	△ 298	△ 0.1
教 育 費	987,508	1,147,691	△ 160,183	△ 14.0	1,161,962	△ 174,454	△ 15.0
災 害 復 旧 費	6	2,806	△ 2,800	△ 99.8	2,806	△ 2,800	△ 99.8
公 債 費	1,398,820	1,379,133	19,687	1.4	1,379,133	19,687	1.4
予 備 費	40,000	40,000	0	0.0	110,103	△ 70,103	△ 63.7
合 計	8,600,000	8,630,000	△ 30,000	△ 0.3	8,833,024	△ 233,024	△ 2.6

歳出の構成割合（目的別）



(2) 性質別内訳

人件費は、職員の退職、町三役・教育長の給料の抑制、部課長及び課長補佐の管理職手当の抑制などにより、前年度と比べ、1億20万4千円、5.8%の減額となっています。

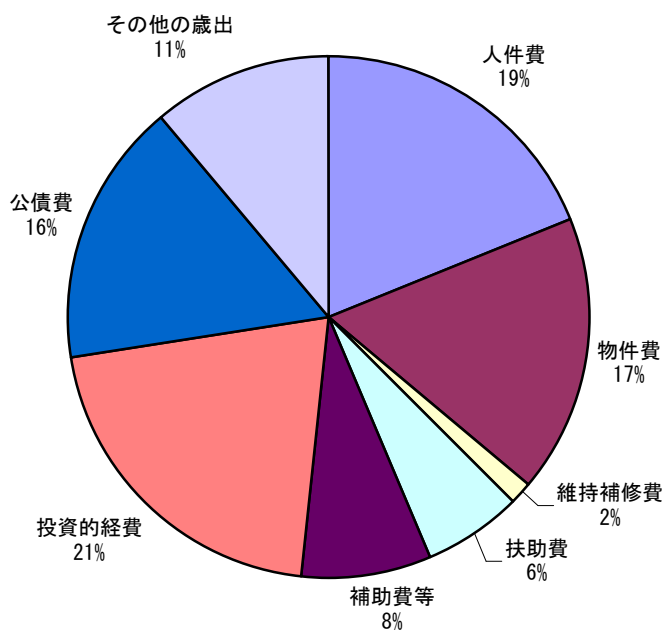
また、物件費では、ごみ処理業務等委託料の縮減や施設管理経費等の縮減などにより、前年度と比べ、1億9万6千円、6.4%の減額となっています。

一方、扶助費は、制度拡充に伴う児童手当の増などにより、前年度と比べ、5,541万1千円、11.9%の増額となるとともに、投資的経費にあつては、中宮寺跡史跡用地購入事業にかかる事業費は減となったものの、JR法隆寺駅周辺整備事業費の増や史跡藤ノ木古墳整備事業、(仮称)文化財活用センター整備事業への取り組みにより、前年度と比べ、4,572万6千円、2.6%の増額となっています。

(単位：千円，%)

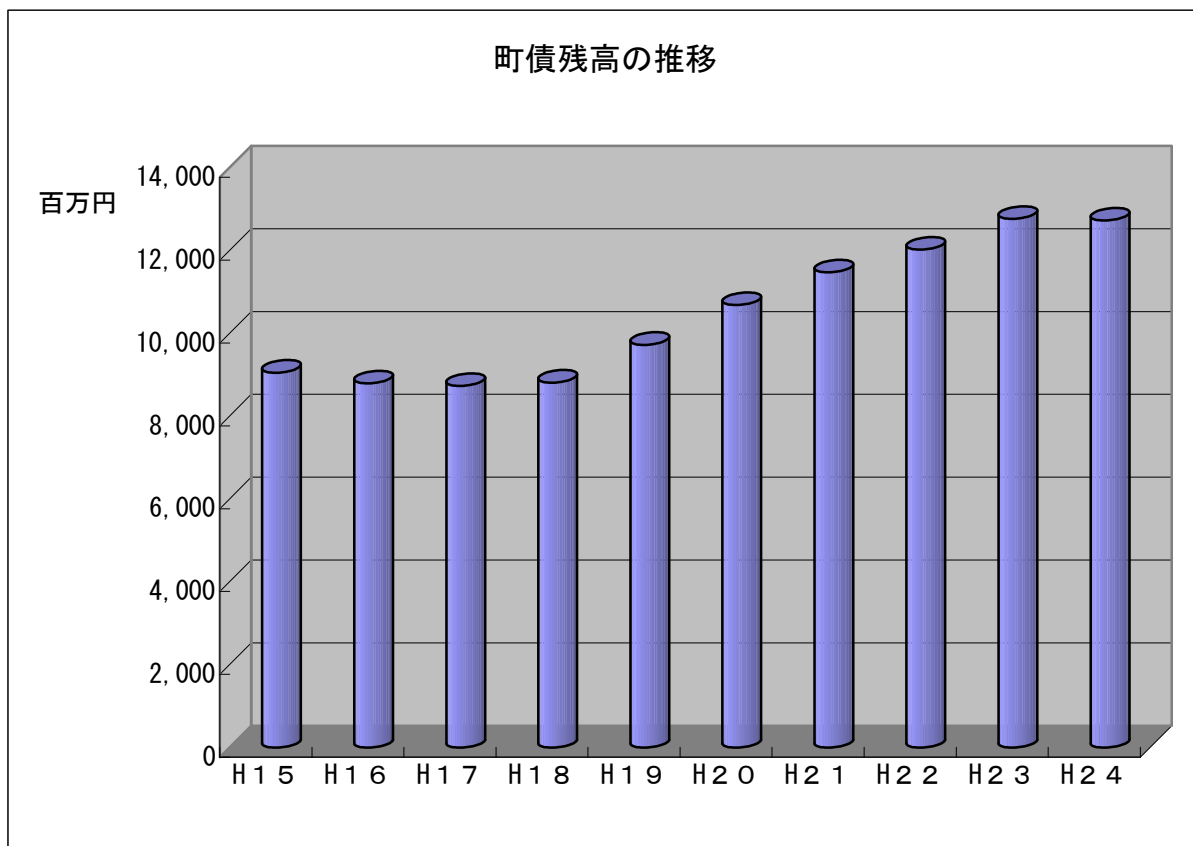
区分	平成18年度 予算額 A	平成17年度 予算額 B	増減額 A-B C	増減率 (C/B)*100	平成17年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
人件費	1,632,726	1,732,930	△ 100,204	△ 5.8	1,706,905	△ 74,179	△ 4.3
物件費	1,472,565	1,572,661	△ 100,096	△ 6.4	1,597,881	△ 125,316	△ 7.8
維持補修費	129,507	127,531	1,976	1.5	127,531	1,976	1.5
扶助費	522,928	467,517	55,411	11.9	479,177	43,751	9.1
補助費等	697,497	703,022	△ 5,525	△ 0.8	719,502	△ 22,005	△ 3.1
投資的経費	1,783,716	1,737,990	45,726	2.6	1,789,052	△ 5,336	△ 0.3
公債費	1,398,046	1,376,623	21,423	1.6	1,376,623	21,423	1.6
その他の歳出	963,015	911,726	51,289	5.6	1,036,353	△ 73,338	△ 7.1
合計	8,600,000	8,630,000	△ 30,000	△ 0.3	8,833,024	△ 233,024	△ 2.6

歳出の構成割合（性質別）



## 6 町債残高の推移（一般会計）

町債の活用は、JR法隆寺駅周辺整備等の都市基盤整備や（仮称）総合福社会館の建設など本町が当面する政策課題に対処していくための財源確保、また、地方一般財源の不足に対処するためには、やむを得ないものと考えています。しかしながら、後年度の財政負担は必ず生じることから、その活用にあたっては、後年度の財政負担を見極めて慎重に対応していきます。



### 町債残高の推移（一般会計）

（単位：百万円）

区 分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
町債残高	9,056	8,797	8,737	8,817	9,729	10,690	11,478	12,026	12,771	12,729